

2020年度 第2回理容科教育課程編成委員会報告書

埼玉県理容美容専門学校
校長 高野 春夫

埼玉県理容美容専門学校は、教育課程編成委員会規則（平成26年12月5日制定）に基づき2020年度第2回教育課程編成委員会を開催しましたので、下記のとおり報告いたします。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、本年度は文書の收受にて実施いたしました。

1 出席委員（8名）

	氏名	所属
1	間山 弘子	モードサロン ぴりか 代表
2	石井 孝之	ヘアーサロン パンビ 代表
3	吉田 三晃	Smile hair 代表
4	加藤 隆代	Hair 先駆社 代表
5	高野 春夫	学校法人 埼玉県理容美容専門学校 校長
6	島田 美紀	同 経営企画部長
7	遠藤 昌宏	同 教務課副課長
8	本橋 孝則	同 教務課副課長

2 開催日時 2021年3月9日（火）

3 委員会次第

1) 報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症について、校内の感染対策としてマスク着用の強化や昼食時に担任が同席し注意喚起、相モデルをできるだけ避けた実習授業、など対応している。第3波の予兆時には、各教室に加湿器とアクリル板シールドの設置及び全教員と講師にワイヤレスマイク・インカムセットを準備し対面授業での飛沫感染防止策を徹底した。また、感染のピークを迎える前に授業時間数確保を目的として、8時間授業を実施した。
- ・学校行事はコロナ禍の影響で全国学生技術大会、修学旅行、実務実習を中止とした。11月の「ヘアショーフェスタ2020」は1年生のみの観覧とし、マスク・フェイスシールドを着用して舞台上や楽屋の入場人数制限を行い開催した。3月の「校内競技会」も同様に開催した。
- ・1月13日（水）全学生に抗体検査を実施、2名（既に治癒免疫抗体あり）を除いた252人が陰性である結果が出た。
- ・学生のアルバイト収入の減額が予想されたため、日本学生支援機構や社会福祉協議会などの支援金の周知や個別相談の実施等、学生が少しでも安心できるような相談体制を整えた。

2) 前回の問題点に対する改善の報告

- ・実習授業は感染のリスク回避のため、相モデル授業の前に必ず検温を行っている。美容科のシェービング相モデル時に技術者はマスクとフェイスシールドを着用し、モデルの顔半分をタオルで覆い、片側ずつ施術を行う等の工夫をしている。シャンプー実習のうちスタンドシャンプーは、2年次に実施予定とした。美容科のネイル実習は、全員マスクとフェイスシールドを着用してモデルは横を向き、手だけ技術者に伸ばして行い、メイク実習は鏡を見ながら自分にメイクを行い、エステ実習はメンズウィックを使用した授業を行っている。
- ・国家試験学科の早期対策として、2年生全員のスマートフォンに学科トレーニングアプリを導入した。特に模擬試験等で合格ラインに満たない学生や希望する学生には、登校日でない日に学校で少人数体制での補講を行った。

2) 協議事項

- ・学校においては、新型コロナウイルス感染症に十分な対策をとっている。対応が長期化する中、今後も感染者を出さないよう引き続き対応していただきたい。休憩時間の過ごし方や消毒に関する正しい知識等、学生自身の意識を高めることも感染拡大防止に重要である。
- ・We b授業について、サロンでもZOOMによる会議や講習が増加しており、状況にあった対応である。学生の通信環境に差があることも踏まえて、環境を整えていただきたい。また、We b授業と並行して対面授業も行ったことは学生のモチベーション向上にとっても良い影響があったと言える。国家試験への対策等、今後も引き続き感染症対策を講じながら授業を実施していただきたい。